



課題の数だけ  
アイデアがある。

**Rita Technology**

最新のテクノロジーを駆使し、お客様に利をもたらす(利他)製品を開発する  
**Rita Technology** 株式会社 (RITA TECHNOLOGY CORPORATION)

代表取締役 上野 光陽

〒161-0034 東京都新宿区上落合 3-8-25 FLAMP1302

資本金 8,000,000 円(2018年3月末現在)

設立 2018年3月20日

主な事業内容

AI、マシンビジョンを活用したシステム開発

IoT、クラウドを活用したシステム開発

ICTシステムの設計、製造、保守

# A I × 機械

マシンビジョンを活用したA I、3Dカメラ・サーモカメラなどのセンサー、ロボット・クレーンなどの機械の適切な組み合わせで課題を解決に導く設計開発をします。



## 廃棄物自動選別機

近赤外・3D センサーの情報をもとに、A Iが廃棄物の種類を判別、ロボットが自動的に選別を行います。選別対象の特徴や現場の条件に合わせて機械的な選別機構まで含めた一連の処理を設計開発します。

## クレーン自動投入

カメラ映像とセンサーから廃棄物の場所と分布を認識し、A Iにより最適なポイントを握持し破砕機へ自動投入。廃棄物をヤードに貯めておけば作業をし続けます。ヤードを複数に分割し投入する割合を設定することもでき、安定した廃棄物投入を実現します。



## 破砕機 IoT システム

様々なセンサーを取り付け、「見える化」することにより、機器の管理や故障による工場停止の回避、最適な運用の検討などを実施することが可能。



## コンテナ追跡システム

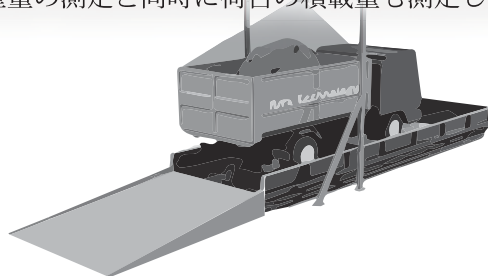
廃棄物回収コンテナに GPS トラッカーを装備。位置情報をクラウドサービスの MAP 上に表示。満杯を検知し回収のスケジューリングも検討。



# センサー × 機械

## トラック体積測定

トラックの体積を高さセンサーで計測することで、自動的に体積量を計測可能。トラックスケール上で重量の測定と同時に荷台の積載量も測定します。



## 体積測定技術を用いた破砕機コントロール

3次元センサーによる体積測定技術で、測定しフィードバックすることで、後工程へ破砕物が流れすぎないように破砕量をコントロールします。



# I o T × 機械